

『自分で考え、命を守る』

校長 北 洋昭

5月10日午前8時48分頃、震度4の地震がありました。川上小学校はちょうど職員朝会の時間で教室に先生方はいませんでしたが子どもたちはさっと机の下に隠れて先生方が駆けつけるのを待っていました。



年度初めは、交通教室、地震避難訓練、不審者対応訓練と立て続けに事故の予防や防災についての行事がありました。そのなかで毎回子どもたちに話したのは「自分の命は、自分で考えて、自分で守る」ということです。

近年、想定外の事故や天災も起こっていますが、実際に、状況を見て危険を感じ取り、どうすべきかを判断するのは子どもたち自身です。学校や家庭で学んだことを守りながら、現場で考え行動することが必要です。

私自身の苦い経験も伝えました。小学1年生の時、道路横断中にバイクとの交通事故に遭い、骨折をしました。当時から真面目だった私は、学校で習った「右を見て、左を見て、また右を見て、手を挙げて渡る」をきちんと守って横断していました。でも、バイクとぶつかってしまったのです。見通しのよい道路だったので、「左右を見る」の意味を考え、「横断中も車が来るかも知れない」という危機意識をもっていれば防げた事故かもしれません。（その日は誕生日で、ちょっと浮かれていたところもありましたが。）

川上小の子どもたちに「地震の時、どうして机の下に隠れたの。」と聞くと「上から何か落ちてくるかもしれないから。」「頭を守らないといけないから。」といった返事でした。しっかり考えて行動できていたようです。

これからも学校や家庭で学んだことを生かして、自分で考え命を守る子どもたちを育てていきたいと思ひます。

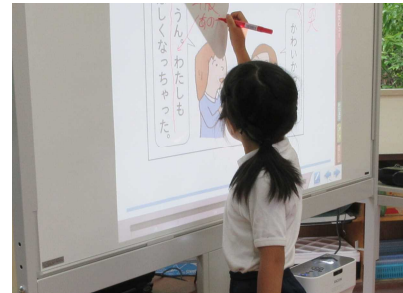
川上っ子 令和元年 5月号

川上ブランドその1

ICT活用の充実

先月号でお知らせしました「川上ブランド」の一つにICT活用があります。ICT活用には、以下の効果があります。

- ①分かりやすい説明
- ②興味・関心の向上
- ③他校の児童との交流



【プロジェクターとホワイトボードを使って】

全校朝会の校長の話もICTを使って行っています。今回は、「ソサエティ5.0」という、そう遠くはない未来の社会がどのようなものか90秒で描かれている動画を使用しました。ドローンによる宅配便や無人のトラックやバスが現れ、随分と便利な世の中になっていることを紹介する内容でした。



そのような未来社会ではどんな力が必要とされるのか。今からどんなことを学ばなければいけないのか、そんな校長の話に子どもたちは、引き込まれていきました。



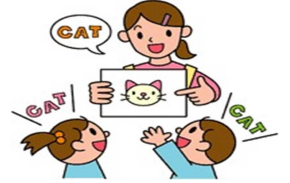
また、昨年度2回行った、小規模4校によるTV会議システムを今年度も可能な限り活用し、子どもたちに多様な考えにふれさせていきます。

先日そのための打ち合わせを3校の教頭で、TV会議システムを使って行いました。22日(水)には、小規模4校の管理職と研修係で今後の計画についてTV会議システムで話し合いを行います。移動時間の節約を考えると、これは多忙化を解消する業務改善の一つにもなります。

川上ブランドその2

外国語教育の充実

9日(木)に学校運営協議会を行いました。話題の一つは、「全学年英語に親しむための時間を授業以外でも確保したい(放課後子ども教室の時間をうまく活用してできないか)。放課後、職員は研修や会議があるため、指導者の人材確保をどうしていくか。」ということでした。今後時間をかけて、この課題を解消し、子どもたちの英語力を育成していきたいと思ひます。



＜川上茶ができました＞

4月28日(日)の茶摘み、5月11日(土)の袋詰めでは、保護者や地域の皆様にも多数御協力いただきありがとうございました。おかげさまで910袋の川上のお茶ができあがりしました。今年は昨年度よりも量は減りましたが、質はとてもよいとのこと。もうすでに残り200袋近くとなりました。学校かコミュニティーでお買い上げいただけます。緑茶1袋(90g)500円です。



＜受賞おめでとうございます＞

「ほたるでナイト作品コンテスト」
南日本新聞社賞 1年 I・Sさん
" 2年 T・Sさん

＜6月の主な行事予定＞

- 1日(土) 小規模4校PTA交流会
- 2日(日) 緑の少年団ジャンボタニシ捕獲大作戦
- 3日(月) プール開き
- 5日(水) 市来小との交流学习
- 6日(木) 糰まき
- 13日(木) 小中一貫教育乗り入れ授業(5・6年生)
- 14日(金) 家庭学習強調週間(～20日), 移動図書
- 19日(水) 芸術鑑賞会(旭小にて)
- 21日(金) 田植え
- 22日(土) チャレンジ教室
- 23日(日) ヨットカヌー教室(川上小プール)
茶園事業(7:00～)
- 27日(木) 移動図書



川上ブランドその3

読書指導の充実

現在、読書大好き子を育成するために、全職員で幾度も議論を重ね、次のような目標を考えました。

意図的な声掛けや仕掛けを工夫して、子どもに「なぜ? どうして?」という気付きをもたせ、自ら進んで調べ学びに生かせる児童を育成する。

図書室には、早速いろいろな仕掛けが工夫されています。



日常生活の中で、気付きを促すための設営の工夫です。すぐに調べられるように関連した本が近くに置いてあります。



一本だけ、黄色い花が咲いて、気になっていましたね。と、しよつでしらべたら、名まえがわかってよかったです。

《メディアチャレンジ》

昨年度から「我が家のスマホやゲームのルールと規則正しい生活習慣の確立」をPTAの最重要事項に位置づけて一丸となって取り組んでいるところです。

今回のメディアチャレンジでは、以下の課題を解決するための工夫を取り入れています。

課題①「テレビを視聴する時間を決めていても、守れない。」

例1：日曜18：00から19：00までTV視聴の時間と決めていたのに、結局21：00まで視聴していた。

例2：21：00以降（時に22：00から）の流行のドラマが始まると、リアルタイムで視聴してしまう。（就寝時刻は23：00を過ぎる場合もある。）

課題②「計画を立てていても、習い事のある日とそうでない日の過ごし方が違うため、計画表通りにいなくなる。」

例：火曜日は少年団の練習があり、帰りが遅くなるが、やっぱりユーチューブを視聴してしまい、就寝時刻が遅くなった。

子どもの「時間の過ごし方」と「学力」の関係

		ほとんど しない、 見ない	30分 くらい	1時間 くらい	2時間 くらい	3時間 くらい	3時間 以上	家にはな い、もっ ていない
家で勉強する	国語正答率	54.4	57.1	61.5	65.2	69.9	74.1	—
	算数正答率	50.8	53.7	57.7	60.2	63.4	65.2	—
テレビを見る	国語正答率	69.7	62.8	62.2	61.4	58.6	57.5	63.9
	算数正答率	61.1	56.6	57.9	57.4	56.2	53.7	62.5
テレビゲームをする	国語正答率	64.4	61.9	59.9	57.7	57.6	50.8	63.6
	算数正答率	59.1	58.1	57.2	53.1	52.7	47.0	57.9
パソコンでインターネットをする	国語正答率	61.8	61.8	61.8	59.0	56.6	59.7	56.4
	算数正答率	58.3	57.3	58.2	50.3	56.1	54.8	52.5

ゲーム・テレビ・タブレットは時間を決めて、**タイム**をかけましょ!!

わが家のぎまり

ゲームの時間 平日 30分
(インターネットも同様) 休日 60分
テレビの時間 平日 60分
休日 120分

家のルールを決めましょ!!

川上小児童会

※このポスターは家にはりましょ。

上の表は、平成7～8年にかけて文部科学省の委託に基づいてお茶の水女子大学の研究者がベネッセ教育開発センターと共同で行った調査による結果をまとめたものです。この結果からメディアの利用時間が短いほど学力が高いことが分かり、メディアと上手に向き合う力を身に付けさせる必要性を実感します。計画をしっかり立てて、基本的な生活習慣を確立することで、1日の中で体調がよい時間帯や集中力が高まる時間帯を見極められるようになります。また、集中できる時間の長さや場所を知ること大切だと思います。食事前に集中力が上がるお子さん、集中できる限度が15分というお子さん、雑音や刺激がない空間だと集中できるお子さんなど様々だと思います。6月3日(月)～6月9日(日)は、メディアチャレンジ週間と読書週間です。この機会を捉えているいろいろ試し、お子さんに合った毎日の生活リズムを親子で考えてください。また、児童会でも右上のポスターを作って、「全家庭で取り組んでいきましょう。」と決めたようです。御家庭で掲示して、御活用ください。